

平成28年度学校評価について

本校では、年度初めに学校経営目標を基に今年度の重点目標を設定し、その達成に向けて日々の教育活動に取り組んでまいりました。年度の終わりに当たり、職員の自己評価を行いました。その際、先日の保護者アンケート等も参考にさせていただきました。ここでは、概要をお伝えいたします。来年度も具体的な項目を設定し、取り組んでまいります。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 〔重点目標1〕
すすんで挨拶をし、決まりを守る子どもの育成
 - 〔重点目標2〕
特別活動や道徳教育等を通した、豊かな人間関係づくりができる子どもの育成
 - 〔重点目標3〕
基礎的・基本的な学習内容の定着、及び、主体的に学ぶ子どもの育成
- こつこつ努力、いつも明るく、しっかり学ぶ 元気・本気・やる気の小石の子ども**

- A・・・目標を十分に達成できた B・・・目標をほぼ達成できた
C・・・あと少しで目標が達成できた D・・・目標達成までいかなかった

	評価項目 (取組の内容、目標達成のための手だて)	成果や次年度に向けての取組など	評価
重点目標1 A	基本的な生活習慣の指導を行うとともに、児童の規範意識を高め、自主的にあいさつをするよう指導に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の取組が継続し、校内のあいさつの状況が改善している。 ・基本的な生活習慣に関わる指導に力を入れ、家庭や地域でも実践できるよう今後も取り組んでいく。 	A
	清掃指導に力を入れ、児童とともに清掃活動を行い、教室環境、校内の環境に気を配るよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習や生活に沿った環境整備を心がけ見直しを行ってきた。 ・清掃指導については、日常の指導を徹底していく。中庭や教材園の有効活用をさらに進める。 	B
	休み時間の外遊びの奨励や、縦割り班活動、体育の学習等、様々な機会をとらえて体を動かす機会を増やし体力の向上を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ランランタイムの設定で運動習慣づくりのきっかけができた。体力テストに全校で取り組むことができた。 ・年間を通して体力向上の取組を計画、実施していく。 	A
重点目標2 B	学級活動(1)・(2)を確実に実施し、児童の自発的・自治的な活動の充実に努め、自分の学級が好きだと言える取組に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の充実を図ることができた。 ・自分の学級が好きだと思う子どもが増えている。 ・振り返りの活動を充実させる。 	A
	道徳の時間の充実を図り、「わたしたちの道徳」や副読本を適切に活用して指導するとともに全教育活動を通して道徳教育の充実を図ることができるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本をはじめとした、多様な資料を使って指導することができている。縦割り班活動や学校行事が道徳実践の場になっている。 ・資料等の計画的な活用と学習の成果を残す方法を検討する必要がある。 	B
	いじめ問題解決のための取組や、特別支援教育推進の取組等を通して、子どもたちが安心して過ごせるような学級づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・問題事象の早期発見、早期解決に努め、保護者との連携を図ることができた。 ・いじめ防止基本方針についての研修を深め、常にアンテナを高くしておくこと、情報の共有に努めること、組織で対応することなどを心がけ、心のアンケートを毎月実施し見取る。 	B
重点目標3 B	授業時数と学習進度の調整に努めるとともに、学習のめあてを明示し、適切な板書計画を立て、学習のまとめも確実にを行うように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてとまとめを意識した学習の流れや自分の考えを伝え合うことができるような場の設定に努めた。 ・アクティブ・ラーニングの視点を意識し、思考を助ける方策を工夫し主体的な活動ができるようにする。 	A
	学習規律を大切に、学級全体や児童一人一人の実態をつかみ、積極的に授業を工夫改善して「わかった」「できた」と児童が実感できる授業を実践するよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は落ち着いて学習に取り組んでおり、ノートの活用なども指導することができた。 ・各学年の実態に応じた補充学習を計画的に行うとともに、教師の研修を重ね授業改善を図ることができるようにする。 	B
	学力向上を目的とした学校の取組や家庭学習等を活用し、学習内容の定着と読書タイムの活用、図書館利用の奨励に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間の活用、放課後教室、ひまわりの音読など学校全体で取り組むことができた。 ・家庭学習については、まだ取組の余地がある。児童への指導をわかりやすく、取り組みやすいものにできるようにする。 	B